

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。  
取付け後はお客様にご使用方法を十分ご説明ください。

## 安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを ⚠️ 注意の表示によってお知らせしています。

### ⚠️ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

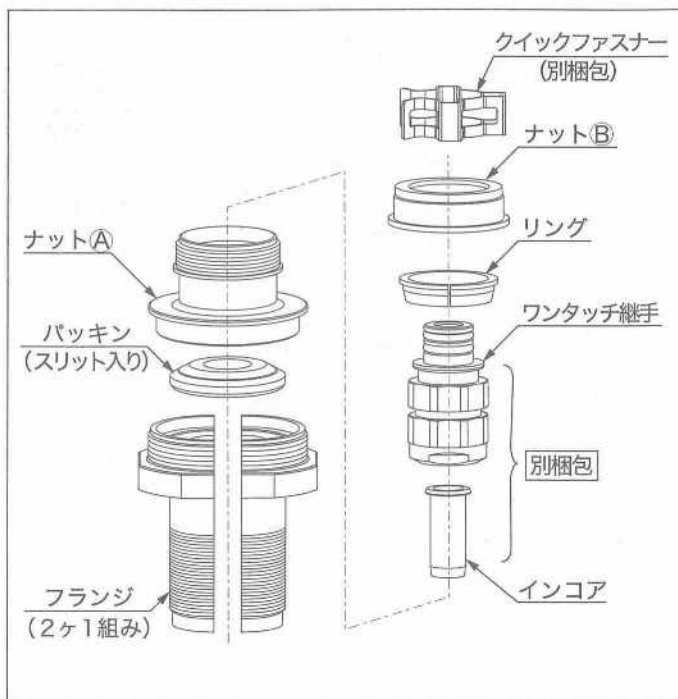
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⊘	してはいけない「禁止」の内容です。
!	必ず実行していただく「強制」の内容です。

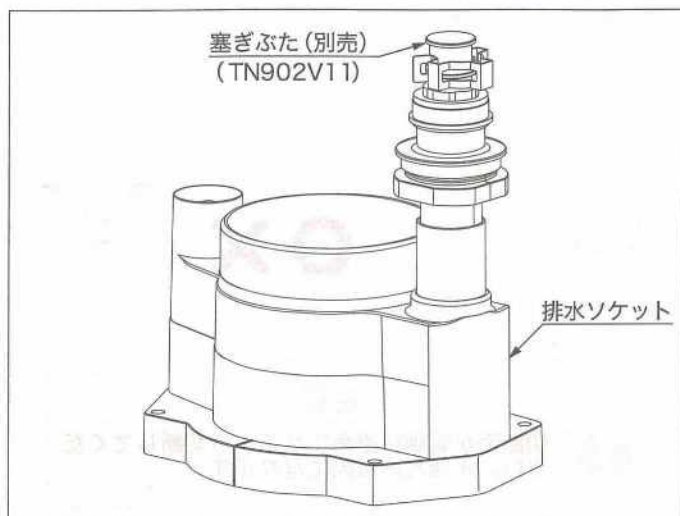
### ⚠️ 注意

!	設備工事に使用する部品は必ず附属部品を使用してください。
⊘	JIS品以外の樹脂管は取付けしないでください。水漏れの原因となります。取付け可能な樹脂管は下記規格に当てはまる、呼び径13Aのもので、設置条件(給水温度・圧力)については、それぞれのJIS内容に準拠します。 ・ JIS K 6769-1999 架橋ポリエチレン管M種 ・ JIS K 6778-1999 ポリブテン管

## 各部の名称



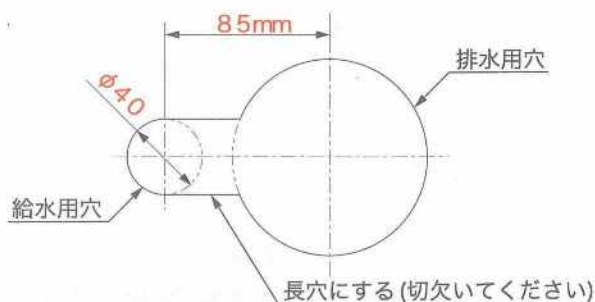
## 完成図



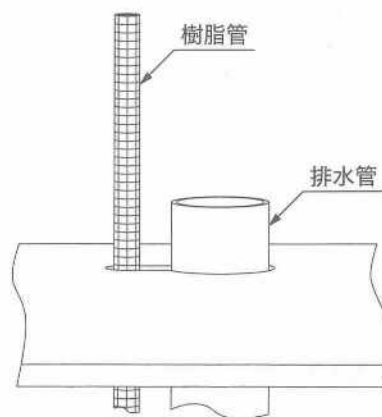
## 施工要領

< 1 > 3mm保温巻き樹脂管の場合

- 1 給水用の穴を排水用穴より85mmの位置にあけてください。下図の様に排水用穴と給水用穴を長穴にすることで施工要領7の作業が行いやすくなります。



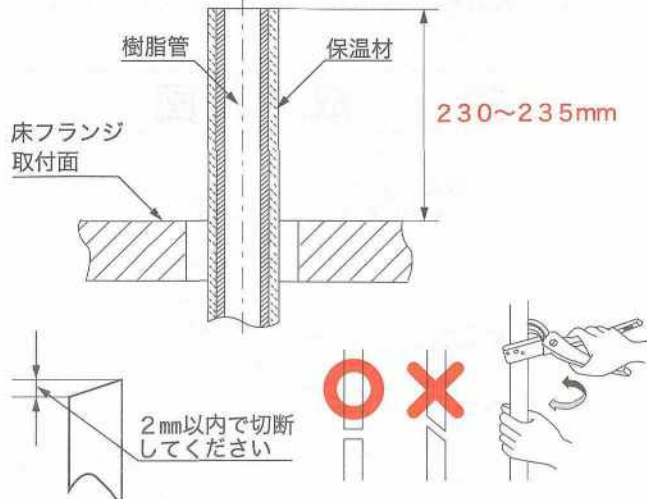
- 2 床下より樹脂管を取出してください。



### ⚠️ 注意

- ! 樹脂管を取出すときは、保温材に傷が入らないように行ってください。

**3** 取出した樹脂管は、床面より230~235mmの位置で切断してください。この時、パイプカッターを用いて、管軸に直角に切断してください。

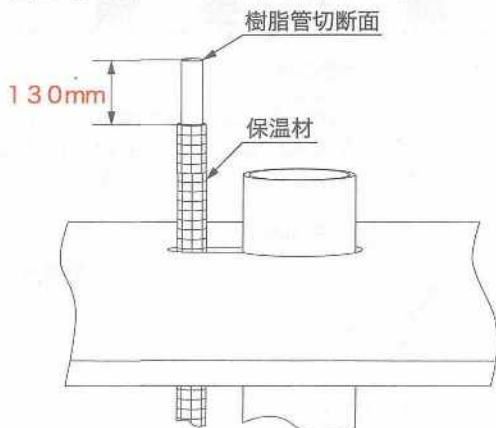


**注意**



切断面が管軸に直角になるよう切断してください。水漏れの原因になります。

**4** 樹脂管の保温材を樹脂管切断面からおよそ130mmの位置（長さ）でカットしてください。



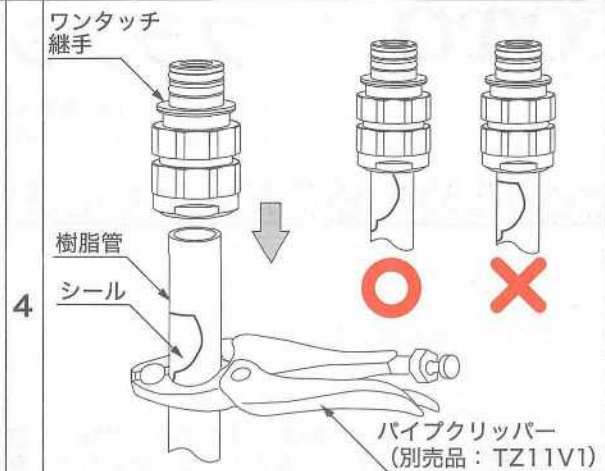
**注意**



保温材をカットする時は、樹脂管に傷が入らないように行なってください。水漏れの原因になります。

**5** 樹脂管と別梱包のワンタッチ継手を次の手順で接続してください。

- 1 インコア シールをはがし、インコアを取出してください。
- 2 樹脂管 シール はがしたシールをインコア挿入部の長さに合わせ、樹脂管に貼付けてください。
- 3 インコアを樹脂管の根元まで差込んでください。
- 4 パイプクリッパーで樹脂管をはさみ、樹脂管が下がらないようにして、ワンタッチ継手に樹脂管を差込んでください。この時、シールの目印まで樹脂管を差込んでください。



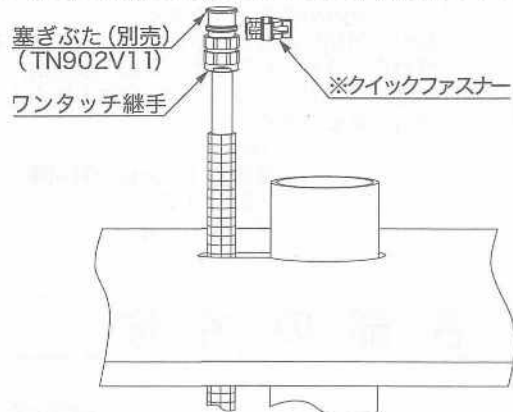
※ワンタッチ継手を引っ張り、抜けないことを確認してください。ワンタッチ継手を少し回転させ樹脂管となじませてください。

**注意**



樹脂管は、ワンタッチ継手に最後まで確実に差込んでください。差込み不足は、水漏れの原因になります。挿入後のシールははがさないでください。検査時のシールによる確認ができなくなります。

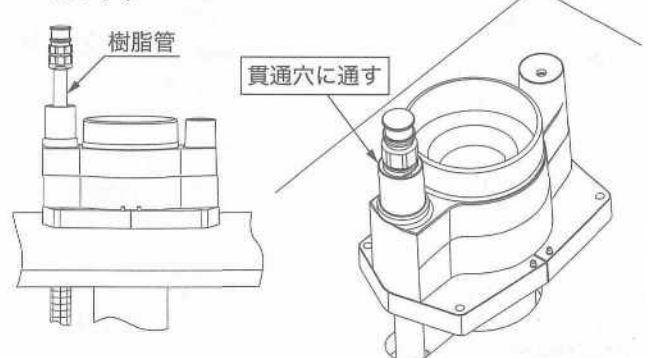
**6** ワンタッチ継手に塞ぎふたを取付けてください。(シール部の保護の目的で塞ぎふたの使用をおすすめします。)



次の工程に進む前に、立ち上げた樹脂管の曲がり癖を直してください。(次からの作業がしやすくなります)

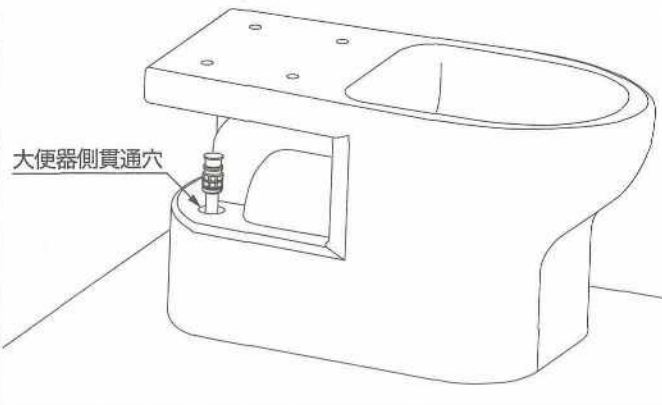
※ワンタッチ継手取付け後に耐圧検査をする場合は、塞ぎふたをクイックファスナーで固定してください。

**7** 大便器に同梱の排水ソケットの貫通穴に、樹脂管を通してください。(クイックファスナーは外しておいてください。)

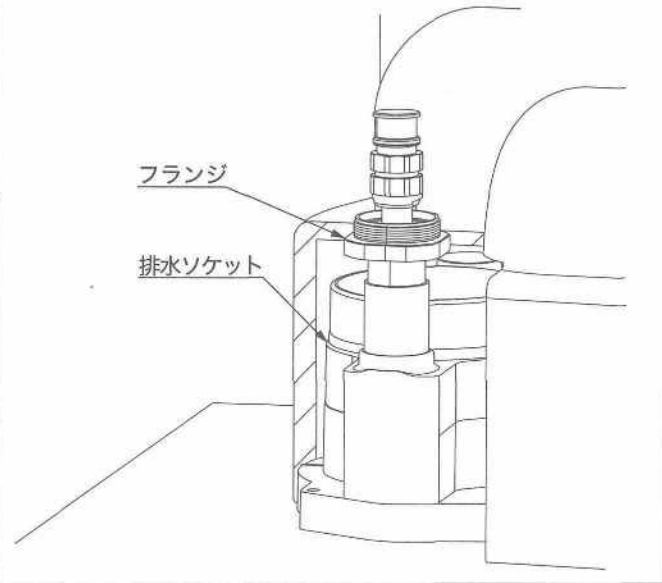


※排水ソケットは大便器に同梱の施工説明書にそって取付けてください。

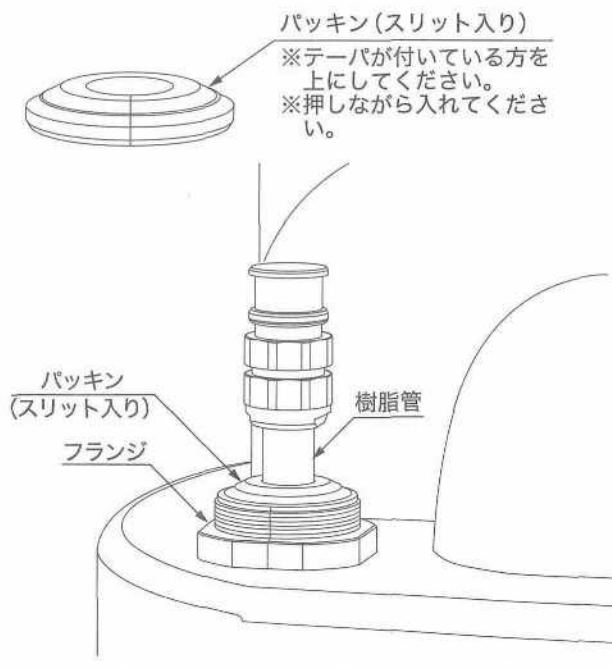
- 8** 大便器取付けの際、大便器側貫通穴に樹脂管を通して  
ください。  
大便器に継手をぶつけないように注意してください。



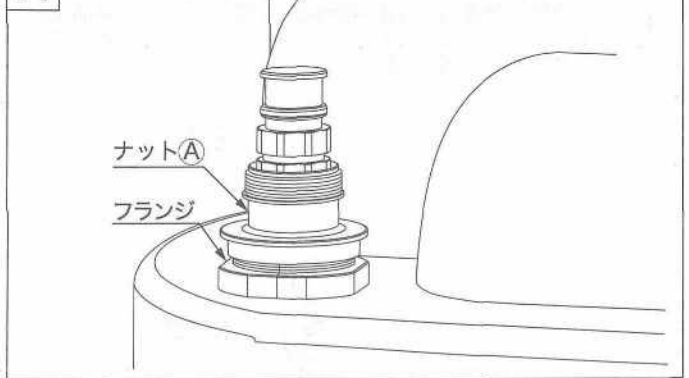
- 9** フランジを排水ソケットにねじ込んでください。  
フランジと便器にすき間ができないよう最後までねじ  
込んでください。手で少し強めにねじ込んでください。



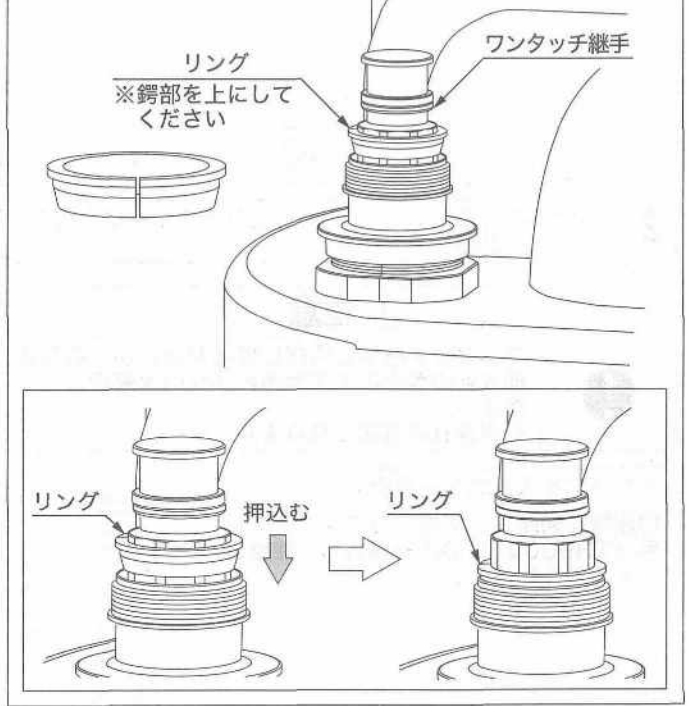
- 10** パッキン(スリット入り)をテーパが付いている方を上  
にして、樹脂管にはめ、スリットの方向に押しながら  
フランジに入れてください。



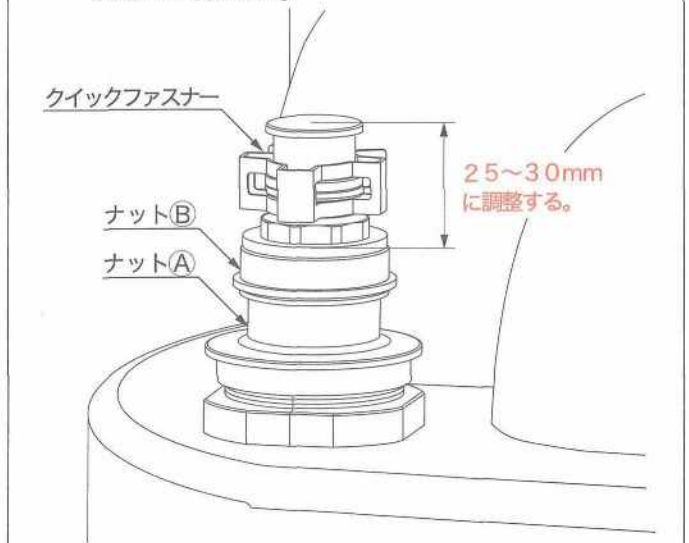
- 11** ナットAをフランジにねじ込んでください。



- 12** ワンタッチ継手にリングの鍔部を上にして取付けてく  
ださい。



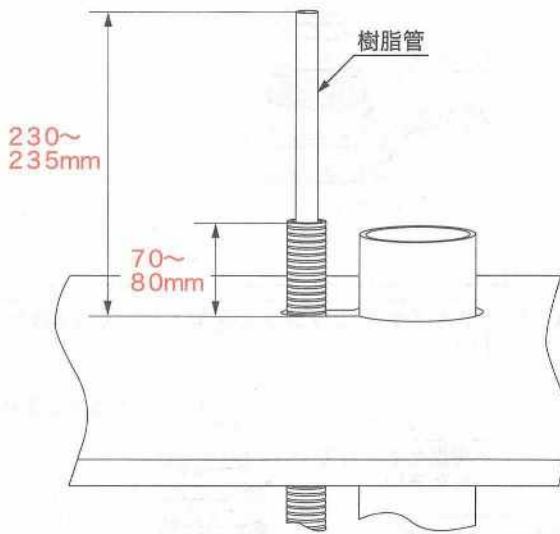
- 13** ナットBをナットAに締付け、ワンタッチ継手を固定  
してください。その際、ワンタッチ継手あるいは、塞  
ぎふたの先端からナット端面まで25~30mmになるよ  
う調整してください。  
クイックファスナーは紛失しないように、再度固定し  
ておいてください。



- 14** この後、止水栓の取付けとなります。止水栓の取付け  
は、止水栓に同梱の施工説明書を参照してください。

<2> さや管付樹脂管の場合

- 1** さや管は床面より70~80mmの位置でカットし樹脂管を通してください。樹脂管は床面より230~235mmの位置でカットしてください。



- 2** 以降の施工要領は<1>3mm保温巻き樹脂管の場合の5~14を参照してください。

**注意**



ワンタッチ継手の内部に異物がないか、樹脂管挿入部の表面にキズや汚れがないか確認してください。  
※水漏れの原因となります。

インコアを入れ忘れた場合

樹脂管を切断し、別売りのワンタッチ継手 (TN900V11SX) を購入し、接続しなおしてください。

